

令和 5 年度

第 5 回加茂市公共交通活性化協議会資料

令和 5 年 11 月 22 日

加 茂 市

<目 次>

第3章 課題の整理	4
第4章 基本的な方針と目標	6
4.1 本計画の基本方針と目標	7
目標1 みんなのおでかけニーズを満たす移動サービスの整備	7
目標2 持続可能な移動サービスの提供	7
目標3 公共交通でおでかけしたくなる環境整備	7
4.2 各移動サービス・移動手段の役割	8
4.3 補助対象幹線システムの必要性和実施主体	9
4.3.1 かもんバス	9
4.3.2 かもんタクシー	10
4.4 目指す移動サービスの体系とサービスレベル	11
第5章 目標達成のための施策・事業	12
目標1 みんなのおでかけニーズを満たす移動サービスの整備	13
施策1-1 かもんバス、かもんタクシーによる公共交通網の構築	13
施策1-2 市域をまたぐ移動ニーズを満たすかもんタクシーの運行	14
施策1-3 中心市街地における回遊性の向上	14
目標2 持続可能な移動サービスの提供	15
施策2-1 かもんバスを含む重複路線の効率化	15
施策2-2 かもんバスと市営スクールバスを統合した効率化	16
施策2-3 AI デマンドシステムを活用したかもんタクシーの効率化	16
施策2-4 かもんバス・タクシーの貨客混載による効率化	17
施策2-5 公共交通グッズ販売による収益の確保	18
施策2-6 EVバス、EVタクシーの導入	19
目標3 公共交通でおでかけしたくなる環境整備	20
施策3-1 かもんバス・タクシー車両のラッピング等によるイメージアップ	20
施策3-2 かもんタクシー乗り方講座	21
施策3-3 かもんタクシーの待合場所の設置	22
施策3-4 ポケット時刻表の発行	23
施策3-5 市役所職員に対する公共交通の利用促進	24
施策3-6 企業に対する公共交通の利用促進	24
施策3-7 加茂市商店街との連携	25
施策3-8 加茂七谷温泉 美人の湯との連携	26
施策3-9 健康事業との連携	26
施策3-10 公共交通グッズを活用した利用促進	27
施策3-11 公共交通乗車券のデジタル化	27

施策 3-12 公共交通データの GTFS 化とオープンデータ化	28
施策 3-13 待合環境の整備	29
施策 3-14 公共交通利用促進冊子の発行	30
施策 3-15 運転免許返納者への公共交通利用券の配布	30
施策 3-16 SNS を活用した PR	31
第 6 章 計画の達成状況の評価・見直しの方法	32
6.1 評価の指標	33
6.2 見直しの方法	33

第3章 課題の整理

分類	上位・関連計画	現況整理(社会状況・公共交通)	アンケート調査	現状(総括)
高齢者の 自家用車利用	-	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進むとともに、高齢者の免許保有率が増加し、高齢者の免許返納数も高いとは言えない状況(P13~14) 高齢者の事故の割合が高い(P15) 	-	<ul style="list-style-type: none"> 自家用車の利用に頼らざるをえない状況にある高齢者がいると想定され、公共交通の利便性向上が求められる。
かもん バス	<ul style="list-style-type: none"> 【総合計画】市民バスにおける地域のニーズに見合った効率的かつ機能的な運行方法への見直しを行う。(P5) 	<ul style="list-style-type: none"> かもんバス本格運行開始後の利用者は平均164人/日と、前年の同時期の155人/日と比較して増加している(P20)。 七谷線、須田線ともに日中の利用者は少ない傾向にある(P21~23)。 	-	<ul style="list-style-type: none"> かもんバスの利用者は増加しているが、今後も利用者増が望まれる。 一方で、かもんバスは日中や休日の利用が少ない。
		<ul style="list-style-type: none"> かもんバスの運行経費は約8,000万円となっている(P26)。 	<ul style="list-style-type: none"> かもんバス利用者、非利用者ともに「運行便数を増やす」、「運賃を安くする」が多く挙げられている(P31)。 	<ul style="list-style-type: none"> かもんバスの「運行便数増加」や「運賃を安くする」要望が多く挙げられている一方で、運行経費が高額となっている。
かもん タクシー	-	<ul style="list-style-type: none"> かもんタクシーにおいて、予約を断らざるを得ない状況が平日の9~11時便、15時便に比較的多い(P25)。 	-	<ul style="list-style-type: none"> 予約の自動組み合わせシステムや運行台数を多く確保することにより、利用者が使いたいときに使えるサービスにする必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> かもんタクシーの平均乗合人数は約1.7人/台で推移している(P24)。 	-	<ul style="list-style-type: none"> かもんタクシーの平均乗合人数が一定となっており、乗合人数の増加による効率化が望まれる。
スクールバスの 非効率な運行	<ul style="list-style-type: none"> 【総合計画】老朽化したスクールバスの更新を継続して進めるため、スクールバスの運行ルート・運営形態の見直しが必要(P5)。 	<ul style="list-style-type: none"> かもんバスとスクールバスの運行経路の重複が多くある(P27)。 かもんバスの運行経費は約8,000万円、スクールバスの運行経費は約1億円となっている(P26,27)。 	-	<ul style="list-style-type: none"> かもんバス、スクールバスの路線の重複が多い。 かもんバス、スクールバスは経費が多くかかっており、今後も運行削減が必要。
学生の 利用促進	-	<ul style="list-style-type: none"> 市内には高校が3校、大学が1校立地(P10)。 通学の流入者が多いことから、公共交通による周辺の市町村への移動の充実を図る必要がある(P12)。 路線バスの利用から、三条市立大学に通学する学生が増えていることが想定される(P18)。 	-	<ul style="list-style-type: none"> 市内、市外に通学する高校生、大学生が存在し、学生にとっても利用しやすい環境が求められる。
脱炭素	<ul style="list-style-type: none"> 【ゼロカーボンシティ宣言】2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「加茂市ゼロカーボンシティ」の実現に向けてチャレンジすることを宣言(P5) 	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通における脱炭素化を行うことで、「加茂市ゼロカーボンシティ」の実現に貢献する。
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 【総合計画】宿泊を伴わない観光客が多いことから、近隣市町村と連携し、地域の特色を活かした広域的な観光ルートの創出に取り組む(P5)。 	-	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の情報を知りたいとき、公共交通利用者は「加茂市公共交通時刻表」や「市ホームページ」を多く利用している(P33)。 非利用者も同様の傾向であり、非利用者にとっても分かりやすい情報提供に努めつつ、おでかけ情報やまちなかの情報などと併せて提供することで利用促進を目指す(P33)。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客等の来訪者にも分かりやすく、使いやすい公共交通の整備が求められる。 利用者、非利用者ともに分かりやすい情報提供と、利用促進につながる情報を併せて提供する。
新たな 移動需要	<ul style="list-style-type: none"> 【総合計画】、まちなかに人の流れをつくり、賑わいの創出を図る取組が必要としていることから、まちなかの回遊性向上や、まちなかにアクセスするための利便性の高い移動手段を確保することを目指す。(P5)。 【都市再整備計画】歴史的建造物、個性ある商店街などの歩きたくなる資源は豊富であるが、居心地が良く歩きたくするための回遊拠点の創出を行う(P5)。 	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地におでかけや健康増進のための移動需要が生まれると想定され、需要にあった公共交通の利便性向上が必要。

※当該の地域を、「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に(=かしこく)利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取り組みを意味するもの

課題①

交通資源をフル活用する公共交通の効率化

- かもんバスはスクールバスとの組み合わせも検討しつつ効率化と高頻度化を図る。
- かもんタクシーは乗合率を高めることで効率化を図る。

課題②

乗りたい時に乗れる公共交通の構築

- かもんバスの運行便数は確保しつつ、かもんタクシーの利用お断りが無いようにすることで乗りたいときに乗れる公共交通を目指す。

課題③

持続可能な公共交通サービスの構築

- かもんバスの路線再編や、スクールバスとの組み合わせにより経費を抑えて運行する。
- 公共交通の脱炭素化に向けEV車両の導入や路線の効率化を図る。

課題④

おでかけや健康増進に資する公共交通の整備

- 中心市街地へのおでかけがしやすくなるように利用者にインセンティブを与えることを検討する。
- かも健康ポイント等との連携により、おでかけ機会と健康増進を図ることを検討する。

課題⑤

誰でも利用しやすい公共交通の整備

- 観光客や普段公共交通を利用しない方にも利用しやすいような情報提供や待合施設の整備を図る。

課題⑥

非公共交通利用者にも訴求する公共交通の利用促進

- モビリティマネジメント(※)を行い、現在の公共交通利用者と非利用者それぞれに訴求する利用促進策を検討する。

第4章 基本的な方針と目標

4.1 本計画の基本方針と目標

<基本方針>

「みんなが自由におでかけできる環境づくり」

目標1 みんなのおでかけニーズを満たす移動サービスの整備

- かもんバス、かもんタクシーの2階層の交通モードにより公共交通網を構築し、公共交通空白地ゼロを継続することを目指します。
- かもんタクシーのお断り件数ゼロを目指します。
- 市域をまたぐおでかけニーズを満たす移動サービスを維持します。
- 中心市街地内の回遊性を高めることで中心市街地へお出かけしやすい環境をつくれます。

目標2 持続可能な移動サービスの提供

- 公共交通の効率化を図り、現在のサービスレベルを維持します。
- かもんバスは加茂市内の交通資源をフル活用し、効率化・高頻度化を目指します。
- かもんタクシーの乗合率を高め、貨客混載等による収益確保と効率化を目指します。
- 公共交通の脱炭素化を行い、環境面においても持続可能な移動サービスを目指します。
- 公共交通キャラクター「おでかもちゃん」のグッズ販売による収益化を目指します。

目標3 公共交通でおでかけしたくなる環境整備

- 加茂市商店街や美人の湯と連携し、公共交通利用の動機付けを行います。
- 健康ポイントと連携し、公共交通利用の動機付けを行います。
- 公共交通利用のハードルを下げるため、分かりやすい案内や情報提供を行います。
- 公共交通への愛着を持てるよう、公共交通キャラクター「おでかもちゃん」の認知度向上を目指します。
- 利用促進および、交通安全、環境への配慮等様々な観点からのモビリティマネジメントを実施し、公共交通利用者の増加を目指します。

4.2 各移動サービス・移動手段の役割

○基本方針に基づいた目標を達成するために必要な加茂市内の移動サービスや移動手段の役割を下表に整理します。

表 加茂市における各移動サービス・移動手段の役割

移動サービス	移動サービス・移動手段の役割	主な路線
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> 信越本線は新潟駅までを約40分、長岡駅までを35分で結ぶ鉄道路線で、市民や観光客等の速達性の高い広域的な移動を担う。 	<ul style="list-style-type: none"> JR 信越本線
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> 都市拠点である加茂駅周辺と市外(三条市、田上町)の地域拠点を結び、市外への通勤・通学、日常生活の移動や観光客の移動を担う。 	<ul style="list-style-type: none"> 新潟交通観光バス 加茂-羽生田-湯田上-湯っ多里館巻 - 六分 - 加茂線 湯東営業所 - 白根 - 庄瀬 - 加茂線 加茂駅-暁星高校-経営大学線 越後交通 東三条駅前-加茂駅前線
かもんバス (市営バス)	<ul style="list-style-type: none"> 都市拠点である加茂駅から須田、七谷を結び、市内幹線を担う。 市内の商業施設や医療施設、観光施設を含むルートを走行し、市民の通勤・通学・通院、日常生活の移動や観光客の移動を担う。 中心市街地では40分弱に1本と高頻度で運行している。 早朝便を運航することによって、各地域の通勤・通学時間における移動需要も担う。 	<ul style="list-style-type: none"> かもんバス 七谷線(※) かもんバス 須田線(※) かもんバス 早朝便・七谷帰宅便(※) ※地域公共交通確保維持事業 地域内フィーダー系統補助対象路線
スクールバス	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の通学における移動を担う。 移動距離や移動時間に制約されることなく、利用を希望すればすべての児童生徒が利用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校への路線
かもんタクシー (市営乗合タクシー)	<ul style="list-style-type: none"> かもんバスでは担うことができない時間帯やエリアへの移動を担う。 自宅前からの乗降が可能のため、かもんバスの利用が難しい場合でも、自由に利用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内全域と田上町、五泉市の一部で運行(※) ※地域公共交通確保維持事業 地域内フィーダー系統補助対象路線
タクシー、運転代行	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道や路線バスでは担うことができない時間帯やエリアへの移動を担う。 自宅前からの乗降が可能のため、かもんバスの利用が難しい場合でも、自由に利用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内全域
自家用車	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道駅までのアクセス手段や、近隣への買い物等の外出、通勤における移動を担う。 中距離以上の移動や家族等のグループ単位での移動を担う。 	-
自転車	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道駅やバス停留所までのアクセス手段や、近隣への外出等の移動を担う。 	-
徒歩	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道駅やバス停留所までのアクセス手段や、近隣への外出等の移動を担う。 まち歩きによる、まちの魅力の体験や発見等の観光振興の役割を担う。 	-

4.3 補助対象幹線系統の必要性と実施主体

4.3.1 かもんバス

かもんバスの須田線、七谷線は、市役所から中心市街地、加茂病院、高校、買い物施設といった生活必需施設と、須田地域および七谷地域を連絡する路線であり、地域の移動手段としての役割を担っています。また、加茂駅では JR 信越本線との接続により広域への移動も可能となっています。早朝便は七谷および下条方面の交通不便地域や五泉市からの通勤の移動手段としての役割を主に担っており、こちらも欠かせない路線です。

一方で、自治体の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要があります。

表 補助系統に係る事業及び実施主体の概要

路線	起 点	主たる 経過地	終 点	事業許可区分	実施主体	補助事業 の活用
七 谷 線	水源地	加茂駅	市役所前	道路運送法 79 条 自家用有償旅客運送 (路線運行)	加茂市	地域公共交通確 保維持事業 地域内フィーダ ー系統補助
	加茂美人 の湯	加茂駅	市役所前			
須 田 線	国道・新 飯田新町	加茂駅	丸山商店			
	国道・新 飯田新町	加茂 高校	加茂駅前			
	加茂 病院前	加茂駅	国道・新 飯田新町			
早 朝 便 ・ 帰 宅 便	上高柳	加茂駅	市役所前			
	市役所前	加茂駅	上高柳			
	七谷コミ ュニティ センター	加茂駅	市役所前			
	上土倉	加茂駅	市役所前			
	村松駅	加茂駅	市役所前			
	五十嵐商 店前	加茂駅	市役所前			

4.3.2 かもんタクシー

かもんタクシーは、タクシー車両を用いた乗合交通であり、通院や買い物等のための移動を担っています。特にかもんバスおよび路線バスの不便な地域における移動や、足腰が弱く自宅や目的地の間をドア to ドアで移動したい方等の移動を担う重要な移動手段です。また、かもんタクシーで市内全域をカバーすることにより、公共交通空白地がゼロとなっています。

一方で、自治体や事業者の運営努力だけでは運行維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要があります。

表 補助系統に係る事業及び実施主体の概要

対象地域	事業許可区分	実施主体	補助事業の活用
・加茂市内 ・田上町、五泉市 の一部	道路運送法 79 条 自家用有償旅客運送 (区域運行)	・葵タクシー(株) ・加茂タクシー(有) ・中越交通(株)	地域公共交通確保維持事業 地域内フィーダー系統補助

4.4 目指す移動サービスの体系とサービスレベル

- 幹線としてかもんバスを運行し、その他の地域の移動をかもんタクシーでカバーすることで、公共交通空白地ゼロを維持します。
- かもんバスの須田線および七谷線は平日の1時間に1本程度を維持し、中心市街地に須田線と七谷線が乗り入れるようにすることで30分に1本程度のサービスレベルを維持します。
- かもんタクシーも1時間に1便の運行かつ、1時間前予約で市内および隣接市町の一部に移動できるサービスレベルを維持します。

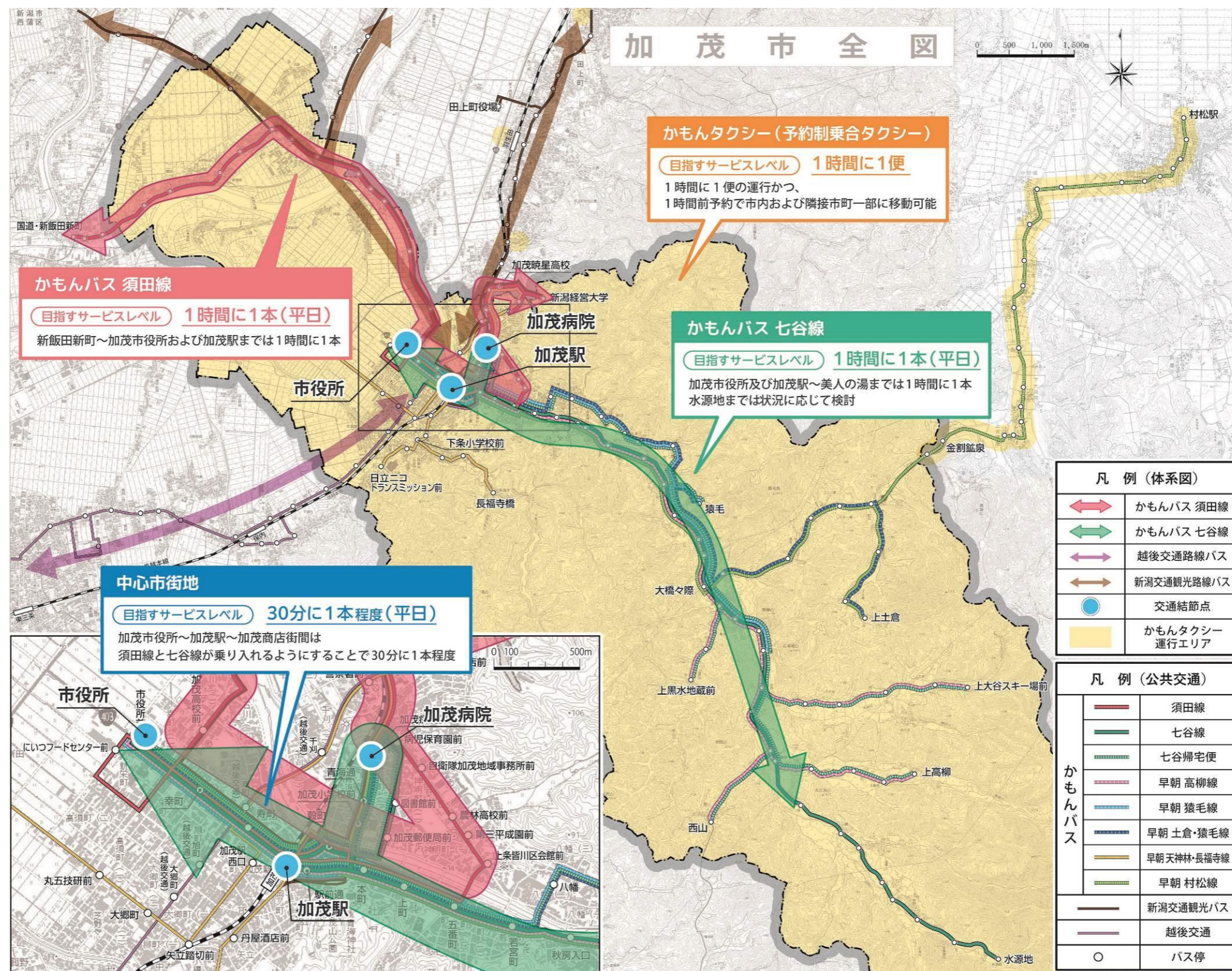


図 目指す移動サービスの体系とサービスレベル

第5章 目標達成のための施策・事業

目標 1 みんなのおでかけニーズを満たす移動サービスの整備

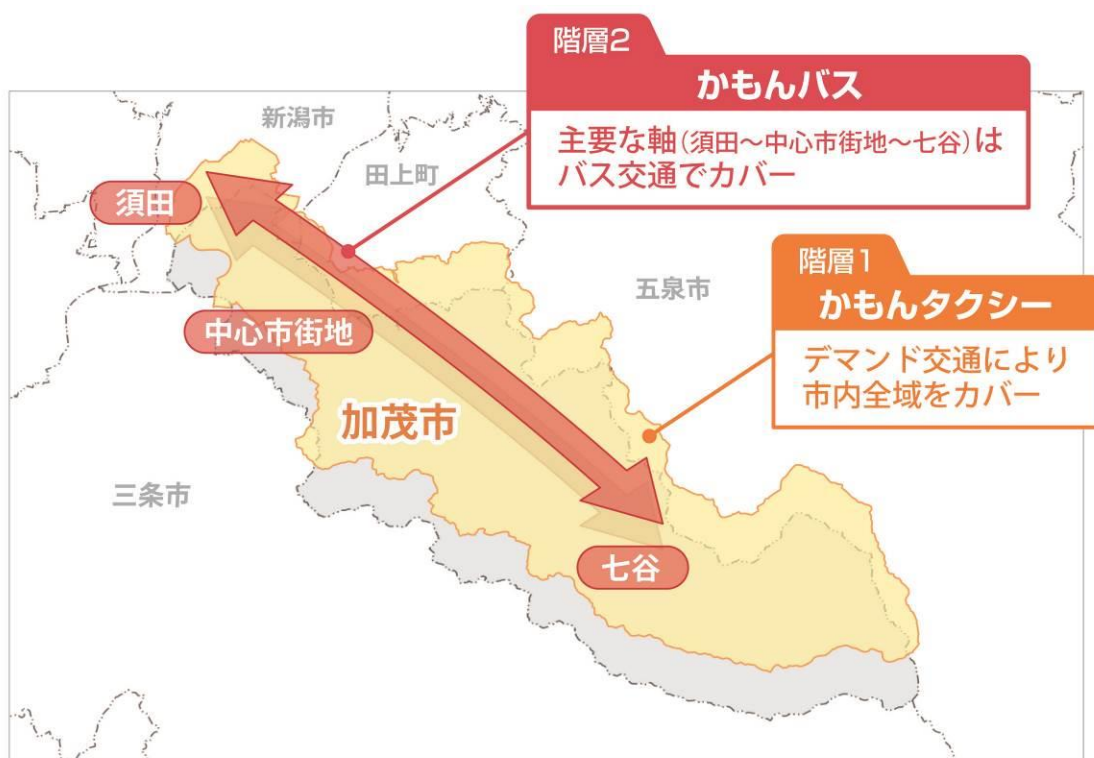
施策 1-1 かもんバス、かもんタクシーによる公共交通網の構築

(1) 関連する課題

- 課題②乗りたい時に乗れる公共交通の構築
- 課題③持続可能な公共交通サービスの構築
- 課題④おでかけや健康増進に資する公共交通の整備
- 課題⑤誰にでも利用しやすい公共交通の整備

(2) 概要

- かもんバス、かもんタクシーの2階層の交通モードにより公共交通網を構築します。デマンド交通であるかもんタクシーで市内全域をカバーしつつ、主要な軸（須田～中心市街地～七谷）はかもんバスを運行することで、公共交通空白地ゼロを今後も維持します。
- かもんバスに関しては、中心市街地において須田線と七谷線を重ねることで、高頻度で利便性の高い運行を行います。
- かもんタクシーに関しては、AI デマンドシステム導入による配車効率化等により、みんなのおでかけニーズを満たせるよう、お断り件数ゼロを目指します。



出典：地理院地図

図 加茂市における公共交通の階層構造

施策 1-2 市域をまたぐ移動ニーズを満たすかもんタクシーの運行

(1) 関連する課題

課題④おでかけや健康増進に資する公共交通の整備

(2) 概要

- 生活圏が近い田上町や五泉市の市域をまたぐエリアにおいて、加茂市内からの移動ニーズが高い場所に関しては、かもんタクシーの新たな行先として設定することを検討し、利便性向上を目指します。
- 現在民間の交通事業者が運行している路線バスの運行継続の動向も踏まえ、市域をまたぐ移動ニーズへの対応を検討します。

施策 1-3 中心市街地における回遊性の向上

(1) 関連する課題

課題④おでかけや健康増進に資する公共交通の整備

課題⑤誰にでも利用しやすい公共交通の整備

課題⑥非公共交通利用者にも訴求する公共交通の利用促進

(2) 概要

- 加茂市の中心市街地には商店街および加茂山公園、加茂山河川敷があり、買い物や運動、遊びを楽しめる立地であることから、中心市街地内での回遊性を高めることはもとより、周辺市街地から中心市街地へお出かけしやすい環境にします。
- 市街地での回遊性の向上にあたっては、令和6年夏頃の策定を目途に検討が進められている、加茂駅周辺中心市街地エリアにおける「未来ビジョン」を十分に意識しながら、シェアサイクル等のマイクロモビリティ導入（写真）や、かもんバスの中心市街地内での乗降無料化等、回遊性・利便性の向上及び賑わいの創出に寄与する施策を検討します。



写真 マイクロモビリティの例（電動自転車（新潟市））

目標 2 持続可能な移動サービスの提供

施策 2-1 かもんバスを含む重複路線の効率化

(1) 関連する課題

課題①交通資源をフル活用する公共交通の効率化

課題③持続可能な公共交通サービスの構築

(2) 概要

- 加茂市内の私立学校が独自に運行するスクールバスとかもんバス（須田線）の運行経路が重複していることから、これらを統合することで交通資源を有効活用しつつ経費を抑えることを検討します。
- スクールバスの代替としてかもんバスを学生に利用してもらう場合は、協議会による MaaS チケット（加茂市内の公共交通が乗り放題となるチケット）の発行を検討します。

加茂駅前→経営大		経営大→加茂駅前	
加茂駅発	路線	経営大発	路線
7:35	須田線	8:48	新潟交通観光
8:15	須田線	10:06	新潟交通観光
8:30	経営大（新潟交通運行）	10:35	経営大
8:30	新潟交通観光	11:04	須田線
8:31	新潟交通観光	11:25	経営大
9:35	須田線	12:32	経営大（新潟交通運行）
9:36	経営大	12:32	新潟交通観光
9:54	経営大	12:41	須田線
10:42	須田線	12:58	新潟交通観光
11:00	経営大	13:30	経営大
11:50	経営大	14:35	経営大
12:20	経営大（新潟交通運行）	14:55	経営大
12:20	新潟交通観光	14:59	須田線
12:37	須田線	15:30	経営大
12:51	経営大	15:39	須田線
14:04	須田線	16:20	経営大（新潟交通運行）
14:18	経営大	16:20	新潟交通観光
15:10	経営大	16:45	新潟交通観光
15:50	経営大	16:45	須田線
		17:07	新潟交通観光
		17:49	須田線
		17:55	経営大（新潟交通運行）
		17:55	新潟交通観光
		18:34	須田線

は須田線と経営大スクールバスの時刻が近く統合が想定できる便

図 須田線、新潟経営大学スクールバス、新潟交通観光バスの時刻表

※R5.8 確認

施策 2-2 かもんバスと市営スクールバスを統合した効率化

(1) 関連する課題

課題①交通資源をフル活用する公共交通の効率化

課題③持続可能な公共交通サービスの構築

(2) 概要

○今後の加茂市内で予定されている小中学校の統廃合を見据えつつ、かもんバスとスクールバスの運行経路の重複が見られる場合は、両者の統合を図り、効率化することを検討します。

○バスのドライバー不足への対応と継続的な雇用を確保するため、かもんバスとスクールバスの両方を運転することができる仕組みを検討し、希望に応じたシフト編成やドライバーの給料アップを目指します。

施策 2-3 AI デマンドシステムを活用したかもんタクシーの効率化

(1) 関連する課題

課題②乗りたい時に乗れる公共交通の構築

課題③持続可能な公共交通の構築

(2) 概要

○かもんタクシーの 1 便あたりの乗合率を高めるために、AI デマンドシステムを導入します。

○かもんタクシーの利用者層拡大のため、加茂市公式 LINE 等を活用した予約システム等の導入を検討します。



図 AI デマンドシステムのイメージ (docomo AI 運行バス)
https://www.docomo.ne.jp/info/news_release/2019/03/26_00.html

施策 2-4 かもんバス・タクシーの貨客混載による効率化

(1) 関連する課題

課題①交通資源をフル活用する公共交通の効率化

課題③持続可能な公共交通の構築

(2) 概要

- かもんバスおよびかもんタクシーを用いた貨客混載、配達を行うためのスキームを検討し、車両のスペースを有効活用しつつ、配達料を得ることで効率化を図ります。
- 美人の湯内の直売スペース等の農作物を扱う場所や、中心市街地の飲食店などへの輸送を検討します。
- 実施にあたっては運ぶ荷物の制限（重さ、生もの・割れ物）を設定することや、荷物の受取人がいる施設など限定的な配送から検討を始め、事業者やドライバーに負担がかからないよう留意します。



図 かもんバス・かもんタクシーによる貨客混載イメージ

施策 2-5 公共交通グッズ販売による収益の確保

(1) 関連する課題

課題③持続可能な公共交通の構築

課題⑥非公共交通利用者にも訴求する公共交通の利用促進

(2) 概要

○加茂市公共交通キャラクターの「おでかもちゃん」を使用したグッズを作成し販売することで、加茂市公共交通のファンを増やしより公共交通を身近に感じてもらいつつ、収益を得ることで公共交通の持続可能性を高めます。



出典：キャラクター特設サイト「ババ・バスオのお部屋」
※西鉄バスのキャラクター

施策 2-6 EV バス、EV タクシーの導入

(1) 関連する課題

課題③持続可能な公共交通の構築

(2) 概要

- 二酸化炭素排出量削減が求められていることや、燃料費が高騰していることから、かもんバス等に利用されている車両のEV化を進め、ゼロカーボンシティ実現に貢献します。
- 充電施設の位置に関しては、運行の効率性や、災害時の非常電源としての機能、その他EV車両との連携について検討して決定します。



図 EVバスのイメージ (EV Motors Japan)

目標 3 公共交通でおでかけしたくなる環境整備

施策 3-1 かもんバス・タクシー車両のラッピング等によるイメージアップ

(1) 関連する課題

課題③持続可能な公共交通の構築

課題⑥非公共交通利用者にも訴求する公共交通の利用促進

(2) 概要

○公共交通のイメージアップを図るため車両のラッピングを実施します。

○市の花であるユキツバキをイメージした色合いとし、加茂市公共交通マスコットキャラクターのおでかもちゃんを表示します。

○かもんバスは、車両更新時に順次ラッピングを実施します。

○かもんタクシーは、運行時にマグネットやおでかもちゃんの人形等を車外から見えるように設置し、通常のタクシーとの区別を容易にします。



図 かもんバス車両のラッピング

施策 3-2 かもんタクシー乗り方講座

(1) 関連する課題

課題②乗りたい時に乗れる公共交通の構築

課題⑥非公共交通利用者にも訴求する公共交通の利用促進

(2) 概要

○公共交通の利用が少ない地域を中心にかもんタクシー乗り方講座を開催し、かもんタクシーの利用促進を図ります。なお、かもんタクシーの乗り方が大きく変更となる場合は各地域で乗り方講座を実施します。



図 過去のかもんタクシー乗り方講座実施の様子

施策 3-3 かもんタクシーの待合場所の設置

(1) 関連する課題

課題⑤誰にでも利用しやすい公共交通の整備

(2) 概要

○スーパーや病院等のかもんタクシーの利用が多い場所に関しては、待合場所を設置することで利用者・かもんタクシードライバーの双方にとって分かりやすくし、利用者が見つからないなどの運行上のトラブルを防ぎます。

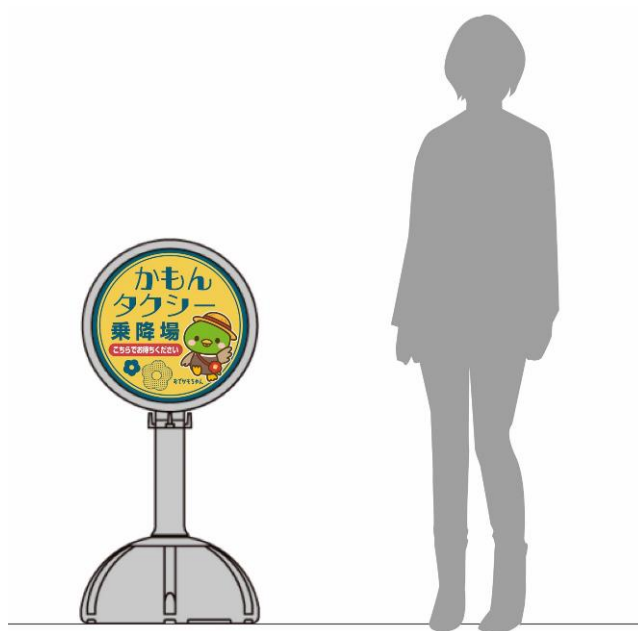


図 待合場所のイメージ

施策 3-4 ポケット時刻表の発行

(1) 関連する課題

課題⑤誰にでも利用しやすい公共交通の整備

(2) 概要

○スマートフォン等によっておでかけ先で時刻表を見ることが困難な方など、紙媒体の時刻表を持ち歩きたいという利用者に向けてポケット時刻表を作成し、発行します。

The image displays four distinct bus schedule posters. The top-left poster is for 'かもんタクシー' (Kamon Taxi), providing a reservation center phone number (0800-123-6822) and website. The top-right poster is the 'かもんバス時刻表' (Kamon Bus Schedule), detailing fares for city (200 yen) and out-of-city (400 yen) routes, along with discounts for children, students, and the elderly. The bottom-left poster shows the '七谷線' (Shichitani Line) daily schedule with 13 stops and 13 columns of departure times. The bottom-right poster lists '早朝路線' (Early Morning Routes), including '早朝 猿毛線' (Early Morning Saimori Line) and '早朝 高柳線' (Early Morning Takayagi Line), with specific departure times for various stops.

図 R5. 8 時刻改正時発行のポケット時刻表

施策 3-5 市役所職員に対する公共交通の利用促進

(1) 関連する課題

課題⑥非公共交通利用者にも訴求する公共交通の利用促進

(2) 概要

- 加茂市役所はかもんバスの運行頻度が最も高い場所の一つであり、利便性が高いため、市役所職員に対して利用を促し、公共交通利用者増を目指します。
- 市役所内での公共交通利用を促す回覧や掲示物の設置、市役所職員に対するノーマイカーデーを設定する等、公共交通を利用するきっかけづくりを実施します。
- 市役所職員が利用することで、その家族や知人への波及効果も得られる可能性があります。

施策 3-6 企業に対する公共交通の利用促進

(1) 関連する課題

課題⑥非公共交通利用者にも訴求する公共交通の利用促進

(2) 概要

- 企業は社員に対して交通費の補助を行っている場合が多いため、公共交通利用者に対して行う交通費の補助の負担が減少するような施策を実施し、企業が社員に対して公共交通での通勤を促すメリットを設けることを検討します。
- 例として、企業から社員分の公共交通利用券を自家用車の交通費補助額よりも安い金額で購入してもらい、企業から社員に配布することで、公共交通利用者の増加を図る施策等が考えられます。

施策 3-7 加茂市商店街との連携

(1) 関連する課題

課題④おでかけや健康増進に資する公共交通の整備

課題⑥非公共交通利用者にも訴求する公共交通の利用促進

(2) 概要

- 中心市街地でのイベント開催時（例、雪椿まつりやカモナイトバザール等）に、公共交通の乗車券配布やイベント中もしくはイベント前後の増便を行い、イベント利用者増や公共交通利用者増を目指します。
- 商店街で買い物をした場合に帰りの公共交通の乗車券を配布するなどの、中心市街地へのお出かけ促進施策を行うことにより、公共交通と商店街相互の利用者増を目指します。

図 中心市街地への公共交通者に対する乗車券サービス（金沢市）

施策 3-8 加茂七谷温泉 美人の湯との連携

(1) 関連する課題

課題④おでかけや健康増進に資する公共交通の整備

課題⑥非公共交通利用者にも訴求する公共交通の利用促進

(2) 概要

○「加茂七谷温泉 美人の湯」は温泉や飲食店を含む施設であり、新たにデイキャンプ施設がオープンしました。

○当該施設の利用者は公共交通を利用することで気兼ねなく飲食することができ、公共交通との連携により双方の利用者増を図ることができます。

○公共交通の乗車券と施設の入場料やデイキャンプのプランが一体となったチケットの販売や、公共交通を利用して施設に訪れた場合に、公共交通に関するグッズを提供する施策等を美人の湯と連携して実施します。

(施策 3-10 公共交通グッズを活用した利用促進を参照)

施策 3-9 健康事業との連携

(1) 関連する課題

課題④おでかけや健康増進に資する公共交通の整備

(2) 概要

○かもんバス車内に専用読取端末の「あるこう！かざすくん」を設置し、公共交通利用者にボーナスポイントを付与することで、公共交通利用と健康増進を図ります。

○公共交通を知る・利用するきっかけとなるように予防接種等実施時や健康ウォーク等のイベント時には公共交通を活用することを検討します。

○健康ポイントで交換できる景品に公共交通利用券を追加します。なお、景品として公共交通利用券を選んでもらえるよう、他の景品に比べて公共交通利用券に交換する際のレートを有利に設定します。

施策 3-10 公共交通グッズを活用した利用促進

(1) 関連する課題

課題③持続可能な公共交通の構築

課題⑥非公共交通利用者にも訴求する公共交通の利用促進

(2) 概要

○公共交通を知ってもらうきっかけとなるように、加茂市内の学校で公共交通グッズを配布します。

○公共交通利用のきっかけづくりや利用促進のため、公共交通を利用して訪れる方が多い場所、もしくは中心市街地など公共交通で訪れてほしい場所において、公共交通利用者に対してグッズプレゼント等を実施します。

○イベント（スタンプラリー等）の景品として限定グッズを制作し、回遊の動機付けを行います。

施策 3-11 公共交通乗車券のデジタル化

(1) 関連する課題

課題⑤誰にでも利用しやすい公共交通の整備

課題⑥非公共交通利用者にも訴求する公共交通の利用促進

(2) 概要

○来訪者やスマートフォンを使える方の利用を促進するために、公共交通の乗車券のデジタル化を進め利用者層を広げます。

○施設の入場券等との統合も容易になるため、施設への誘客も可能となります。（施策 3-7 加茂市商店街との連携、施策 3-8 加茂七谷温泉 美人の湯との連携に活用可能）

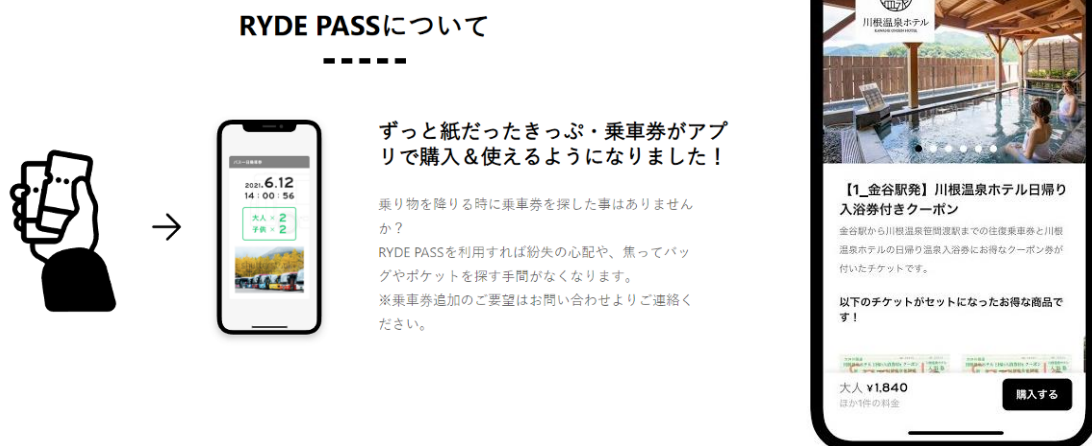


図 デジタル乗車券、入場券付き乗車券のイメージ (RYDE)

施策 3-12 公共交通データの GTFS 化とオープンデータ化

(1) 関連する課題

課題⑤誰にでも利用しやすい公共交通の整備

課題⑥非公共交通利用者にも訴求する公共交通の利用促進

(2) 概要

○公共交通データを GTFS 化することで、経路検索サービスやデジタルサイネージによる時刻案内等に活用できるようにします。

○公共交通データのオープンデータ化を行い、経路検索サービス等の事業者に提供することで、公共交通を用いた経路検索が可能になり来訪者にも分かりやすい情報提供が可能になります。



図 GTFS 整備後の Google Map での経路表示例（五泉市）

施策 3-13 待合環境の整備

(1) 関連する課題

課題⑤誰にでも利用しやすい公共交通の整備

(2) 概要

○かもんバスの利用者が多い場所に関しては、バス待ちのスペースと時刻等を案内するデジタルサイネージを設置することで、待合環境を向上させ、利便性向上を目指します。

○かもんタクシーの利用が多い場所に関しては、雨をしのげるようにすることや、ベンチを設置する等の待合環境整備を実施します。ただし、周辺に既存のベンチ等がある場合は活用を検討します。

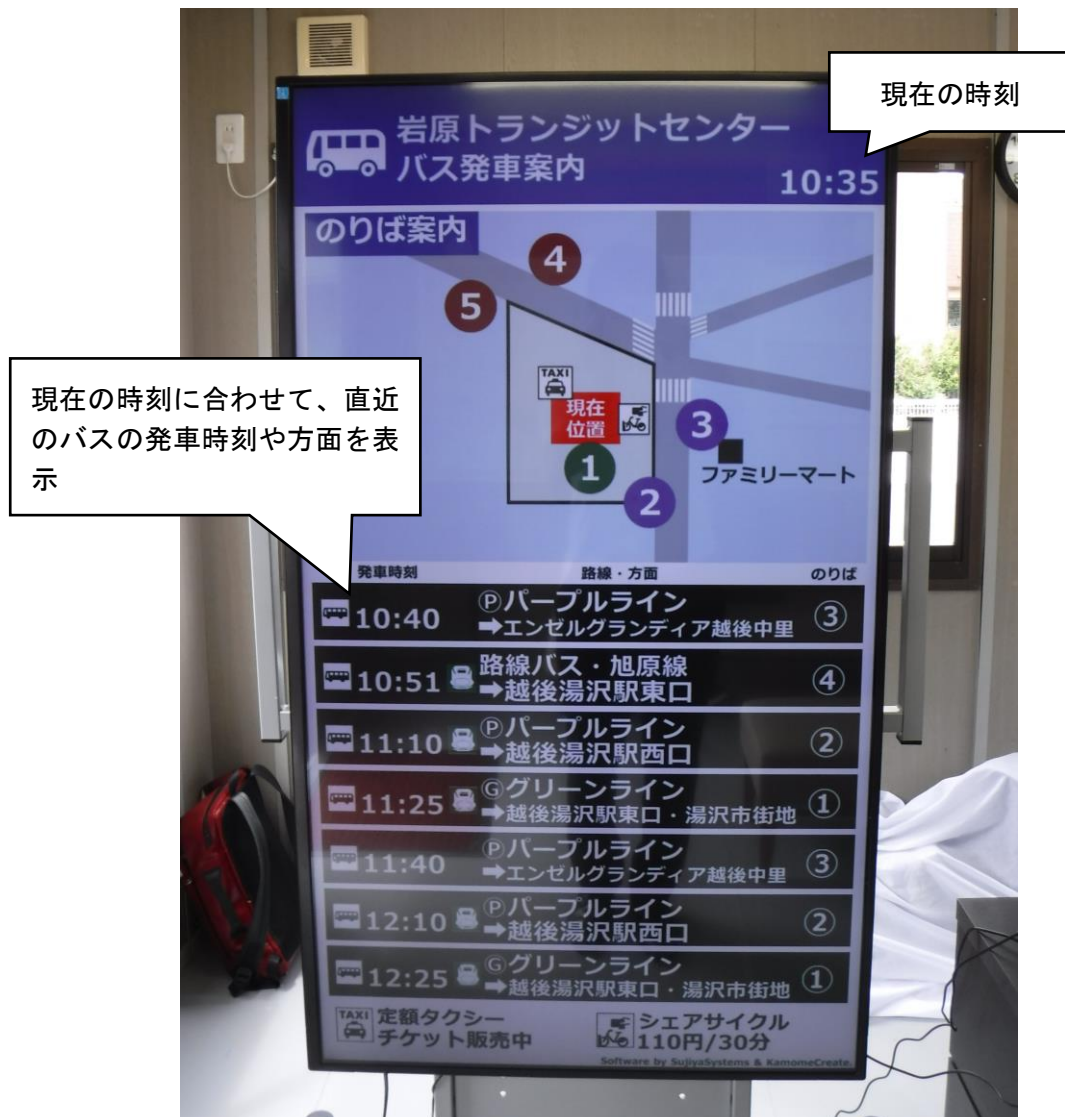


図 デジタルサイネージへの運行情報の掲載例（湯沢町）

施策 3-14 公共交通利用促進冊子の発行

(1) 関連する課題

課題③持続可能な公共交通の構築

課題⑥非公共交通利用者にも訴求する公共交通の利用促進

(2) 概要

○おでかけ情報や、公共交通の利用促進に関する情報を掲載する冊子を作成し、「広報かも」の配布に合わせて配布します。

○公共交通の新たな施策の内容や改善内容等を市民に広く知らせるとともに、公共交通を継続的に改善していることをアピールします。

施策 3-15 運転免許返納者への公共交通利用券の配布

(1) 関連する課題

課題③持続可能な公共交通の構築

課題⑥非公共交通利用者にも訴求する公共交通の利用促進

(2) 概要

○運転免許返納を行う際に、かもんバス、かもんタクシーの利用券を配布することで、免許を手放しても公共交通を利用して外出をする習慣がもてるようにします。

施策 3-16 SNS を活用した PR

(1) 関連する課題

課題⑤誰にでも利用しやすい公共交通の整備

課題⑥非公共交通利用者にも訴求する公共交通の利用促進

(2) 概要

○公共交通の運行に関する情報や、利用促進のための PR などを行うために加茂市の公式 SNS 等（LINE・Twitter・Facebook・メール配信）を活用します。



出典：加茂市役所 広報 X (twitter)

第6章 計画の達成状況の評価・見直しの方法

6.1 評価の指標

- 本計画における3つの目標に対応する評価指標を下表のように設定します。
- 計画期間の最終年度である2028年度(令和10年度)の目標値達成を目指し、各施策を推進します。

表 本計画における評価指標と対応する目標

対応する目標	評価指標	基準値 (R5年度)	目標値 (R10年度)
目標1 みんなのおでかけニーズを満たす移動サービスの整備	人口カバー率[%]		
	利用者数[人/日]	かもんバス	
		かもんタクシー	
	満足度[%] ※アンケート調査から満足の割合把握	かもんバス	
かもんタクシー			
目標2 持続可能な移動サービスの提供	収支率[%]	かもんバス	
		かもんタクシー	
	利用者一人あたりの行政負担額[円/人]	かもんバス	次回提示
		かもんタクシー	次回提示
公共交通グッズ販売による収益[円]			
目標3 公共交通でおでかけしたくなる環境整備	市街地エリアの利用者数[人/日]	かもんバス	
		かもんタクシー	
	美人の湯の利用者数[人/日]	かもんバス	
		かもんタクシー	
	公共交通利用者かつ健康事業参加者の歩数[歩/日]		
免許返納率[%] ※ある年の免許返納者数÷ある年の高齢者免許保有者数			

6.2 見直しの方法

- 計画を進めるにあたりPDCAサイクル(※1)に従い、加茂市地域公共交通活性化協議会において、計画の進捗確認、評価・見直しを行うものとします。
- 各施策の検討・実施状況は本計画の計画期間である2024年度(令和6年度)から2028年度(令和10年度)にかけて1年毎に確認を行います。
- 本計画は、計画の進捗状況に応じて中間見直しを行います。

※1 PDCAサイクル : Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善) のサイクルを繰り返し行うことで、継続的に施策の改善を促す方法を指します。